

## 【NEWS RELEASE】

2020年1月6日

SMBC日興証券株式会社

年頭所感 清水喜彦代表取締役社長発言要旨

明けましておめでとうございます。本年も、皆さまと健やかに新年をお祝いできることを、大変嬉しく思っています。

昨年を振り返りますと、我が国において「平成」から「令和」という新しい元号に変わる中で、米中貿易摩擦や香港デモが激化するなど、世界の政治・経済は混沌としており、まさに『不安定・不確実・不透明な「三つの不」の時代』を迎えています。このような難しい事業環境の中、役社員の皆さまには、それぞれの持ち場でご奮闘いただき、大変感謝しています。

2020年は、2回目の東京オリンピック・パラリンピックが開催される年となります。1964年の前回大会は、日本の高度経済成長という歴史的な変化を象徴するイベントとなりましたが、私は、社会構造や産業構造が大きく変化するタイミングで開催される今回も、新しい時代の『成長』の萌芽として後世に記憶される可能性があると思っています。

フィンテック、コーポレート・ガバナンス、市場改革等、証券業界を取り巻く環境も投資家や発行体の皆さまを巻き込みながら、大きく変化しています。この時代に、お客さまと共に当社が『成長』を遂げるためには、役社員一人ひとりが常にお客さまに寄り添いながら、前向きに変化を受け容れ、自ら『成長』する努力を続ける必要があります。

本年4月からは、新たな中期経営計画が始まります。現在、『成長』をテーマに、様々な戦略を検討していますが、「お客さま本位の業務運営」という軸は決してぶらすことなく、変化を積極的に取り込んでいく企業文化を形成することが、『成長』のために欠かせない要素になると考えています。

2020年という記念すべき年を役社員の皆さまにとっても、当社グループにとっても、大きな飛躍の時とするために、共に変化を楽しみ、『成長』していきましょう。本年もどうぞよろしくお願いたします。

以上

いっしょに、明日のこと。  
Share the Future SMBC日興証券